

「雪の上の足跡」

北軽井沢にある私の山荘(ボロ山小屋)には、さまざまな動物が来ます。冬はあまり行けませんが、久しぶりに行くと、雪の上にいろいろな動物の足跡が残っています。



「雪の上の足跡」 2015, 1 / 北軽井沢

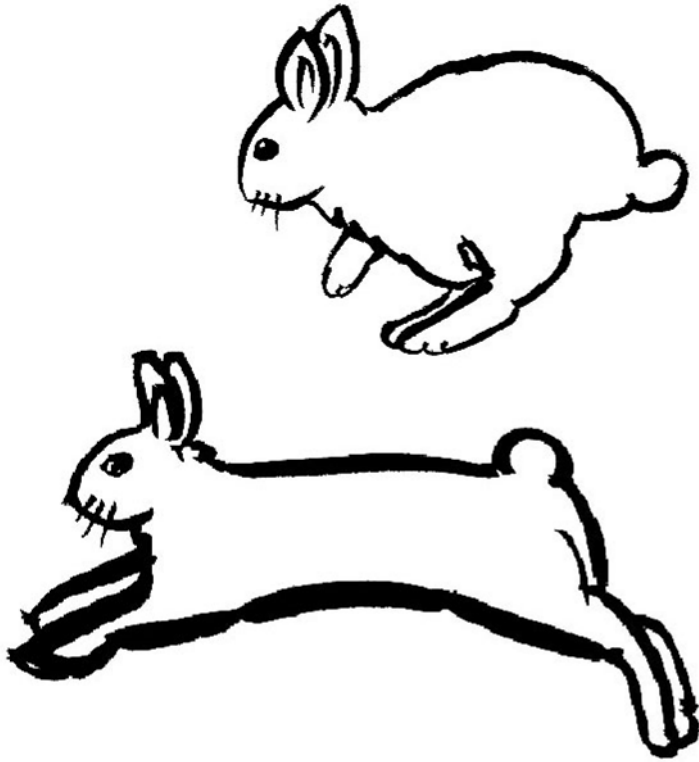
時には2~3種類の足跡が交差しています。幸い「泥棒」のはありませんでした。

一番多いのは、キツネの足跡です。キツネは県道にも町道にも頻繁に出現します。このキツネがクセモノで、テラスに靴やサンダルを置きっぱなしにしておくと、くわえて持ち去ってしまいます。それが、道に点々と残っていたりします。最初は犯人がわからなかったのですが、一度子ギツネが実際にサンダルをくわえて歩いているのを見たので、ヤツが犯人です。



イノシシも多いです。集団で野草の根や残ったクリの実を掘りに来るのです。テンも来ます。しかし、テンは体が小さいので、キツネに怯えながら暮らしています。

「ホンドテン」 北軽井沢 撮影 ; C. Tanaka



雪の上の足跡で、私が一番興味を持ったのは、ウサギの足跡です。ウサギは警戒心が強いので、めったに姿は見ないのですが、足跡はよく残っています。

ウサギは左の図のように走ります。後脚をそろえて、それをバネのようにして飛びます。体を延ばして、前脚で着地します。その後体を縮めて、前脚を挟むようにしながら、後脚で着地します。従って、足跡は、前脚よりも後脚のほうが前についたように見えるのです。

「典型的なウサギの走り方」

作図； C. Tanaka



「雪の上のウサギの足跡」

写真のように、実際に雪の上に残ったウサギの足跡を観察すると、このウサギの走り方がよくわかります。あまり楽しみのない冬の浅間高原ですが、動物の足跡を探せるのは、雪の時期ならではです。これからも探してみたいです。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)